

様式第23号の2（第75条の2関係）

温室効果ガス削減実施状況報告書

平成27年 7月24日

広島県知事様

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

提出者 広島県安芸郡海田町明神町1-48
ヨシワ工業株式会社

代表取締役社長 荒木 健史



広島県生活環境の保全等に関する条例第100条の2第1項の規定により、温室効果ガス削減実施状況報告書について、次のとおり提出します。

事業所の名称	ヨシワ工業株式会社 本社工場		
事業所の所在地	広島県安芸郡海田町明神町 1番48号		
実施状況の内容	別紙のとおり		
連絡先	担当部署 生産技術部 設備技術課 担当者氏名 野村 浩司 電話番号 082-823-2180		
※受理年月日	年 月 日	※整理番号	
※備考			

- 注 1 実施状況の内容については、別紙によることとして、規則第75条の2第2項に掲げる事項について記載するものであること。
2 ※の欄には、記載しないこと。
3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ヨシワ工業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町明神町 1番48号

(3) 業種

自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成23年度から平成27年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー起源CO ₂								
非エネルギー起源CO ₂								
メタン								
一酸化二窒素								
フロン類								
温室効果ガス実排出量総計								
温室効果ガスみなし排出量								
実績に対する自己評価								

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数：千個

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
	平成22年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
エネルギー起源CO ₂	0.86	0.81 6.00	1.01 -17.00	0.89 -3.00	1.05 -22.00	1.099 100.00	100.00	
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス総排出量	0.86	0.81 6.0	1.01 -17.0	0.89 -3.0	1.05 -22.0	1.099 100.0	100.0	
エネルギー消費原単位(原油換算k1)	0.3405	0.3234 5.0	0.3451 -1.0	0.3375 1.0	0.3543 -4.0	0.3827 100.0	100.0	
実績に対する自己評価	増加傾向：受注変動や製品1個当たりのエネルギー使用量の影響を受けている為抜本的なエネルギー削減が必要							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量の5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・省エネ電気機器への更新(ボイラー→エコキュート)設備投資時にはトップランナー基準を満たした装置を使用する ・休憩時間の消灯の徹底
		ピーク電力5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・工場のデマンドの見える化 ・デマンド予測による使用電力の平準化 ⇒デマンド警報時の運用管理の徹底
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	無	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	無		

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。